

生成AIの落とし穴

～デメリットも知って、生成AIを使いこなしていこう～

最近よく耳にする「生成AI」。チャットで質問に答えたり、絵を描いたりしてくれる便利な技術ですが、使うときには注意が必要です。

どんなもので、どんな危険があり、どう付き合えばよいかを知っておくことが大切です。

生成AIを使う時の注意点

平気でウソをつく！

生成AIは、いかにも正しそうなウソをつくことがあります！（ハルシネーション）

2020年にノーベル物理学賞を受賞した日本人は「福岡 教太郎」さんです

**存在しない人の
名前だった！**



個人情報^{こじんじょうほう}がもれてしまう！

入力した情報^{じょうほう}を、AIが「学習」し、他の人が使った時に、その情報^{じょうほう}が表示^{ひょうじ}されてしまうかも！

ボクが主人公の小説を書かせてみよう！

この名前と学校名…
じつざい
実在する人のものだ！



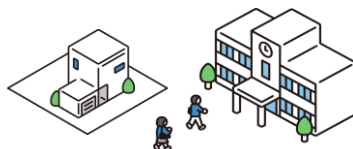
生成AIを安全に使うための3つのルール

生成AIが言ったことを
そのまま信じない！



生成AIは間違^{まちが}った回答をすることがあります。自分でも本当かどうか調べるようにしましょう。

個人情報^{こじんじょうほう}は
絶対に入力しない！



個人情報^{こじんじょうほう}を学習されるかもしれません。
入力しないようにしましょう！

まずは「おうちの人」
と一緒に使ってみる！



保護者^{ほごしや}などおうちの人と一緒に使ってみて、生成AIを使うときのルールも決めておくとういでしょう。

大切なのは、危険性^{きげんせい}をしっかり理解^{りかい}して、生成AIの答えを「うのみ」にしないことです。生成AIに「使われる」のではなく、人間がかしこく「使いこなす」ことが大切です。そして、使う前には必ずルールを確認^{かくにん}しましょう。もし使っていて「おかしいな」「こわいな」と思ったら、すぐに使うのをやめ、信頼^{しんらい}できる大人^{そうだん}に相談^{さうだん}しましょう。

生成AIを理解して使いこなそう！

